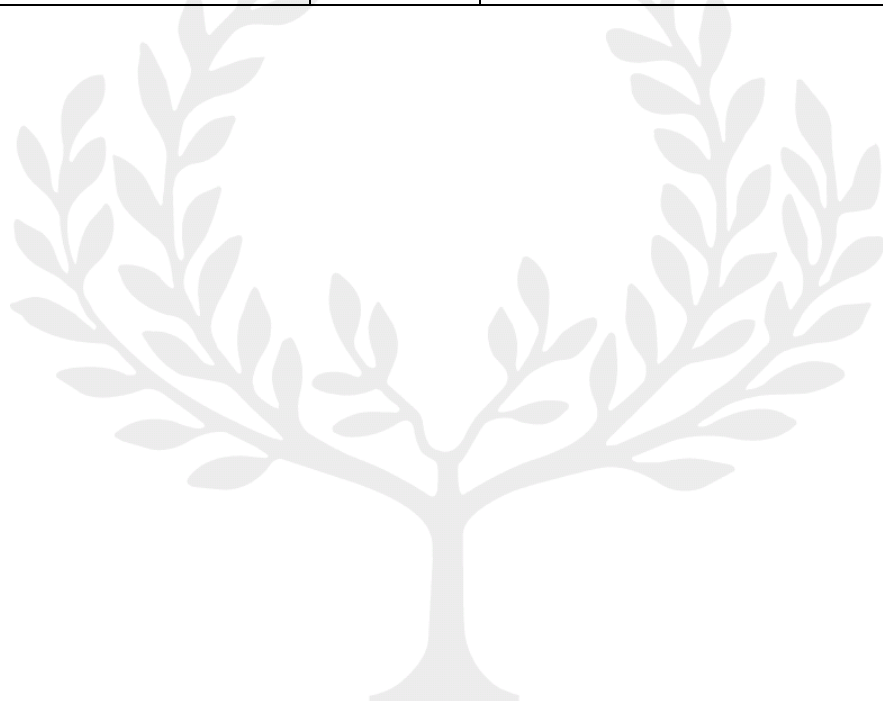


## ⑦ヒューマニズム・イントロダクション

項目	SBO	内容	①	②	③
【生命の尊厳】	A-(1)-1-1	人の誕生、成長、加齢、死の意味			
	A-(1)-1-4	死に関わる倫理的問題(安楽死、尊厳死、脳死など)			
【医療の目的】	A-(1)-2-1	予防、治療、延命、QOL			
【社会の期待】	A-(2)-1-1	社会のニーズ			
【医療行為に関わる こころ構え】	A-(2)-2-1	ヘルシンキ宣言			
	A-(2)-2-2	医療の担い手が守るべき倫理規範			
	A-(2)-2-3	インフォームド・コンセント			
【コミュニケーション】	A-(3)-1-1	言語的および非言語的コミュニケーション			
	A-(3)-1-2	意思、情報の伝達に必要な要素			
【相手の気持ちに配慮する】	A-(3)-2-1	対人関係に影響を及ぼす心理的要因			
【患者の気持ちに配慮する】	A-(3)-3-1	病気が患者に及ぼす心理的影響			
【チームワーク】	A-(3)-4-1	チームワークの重要性			
【地域社会の人々との 信頼関係】	A-(3)-5-1	薬の専門家と地域社会の関わり			
【薬学の歴史】	B-(1)-1-1	薬学が果たしてきた役割			
	B-(1)-1-2	薬剤師の誕生と変遷の歴史			
【薬剤師の活動分野】	B-(1)-2-1	薬剤師の活動分野(医療機関、製薬企業、衛生行政など)			
	B-(1)-2-2	薬剤師と共に働く医療チーム			
	B-(1)-2-3	医薬品の適正使用における薬剤師の役割			
	B-(1)-2-4	医薬品の創製における薬剤師の役割			
	B-(1)-2-5	疾病の予防および健康管理における薬剤師の役割			
【薬について】	B-(1)-3-1	「薬とは何か」			
	B-(1)-3-2	薬の発見の歴史			
	B-(1)-3-3	化学物質が医薬品として治療に使用されるまで			
	B-(1)-3-4	種々の剤形とその使い方			
	B-(1)-3-5	一般用医薬品と医療用医薬品の違い			
【現代社会と薬学との接点】	B-(1)-4-2	麻薬、大麻、覚せい剤などを乱用することによる健康への影響			
	B-(1)-4-3	薬害			
【日本薬局方】	B-(1)-5-1	日本薬局方の意義と内容			



## ⑧健康と環境 I、II

項目	SBO	内容	①	②	③
【栄養素】	C11-(1)-1-4	タンパク質の栄養的な価値(栄養価)			
	C11-(1)-1-5	基礎代謝量、呼吸商、エネルギー所要量			
	C11-(1)-1-6	栄養素の栄養所要量			
	C11-(1)-1-8	栄養素の過不足			
【食品の品質と管理】	C11-(1)-2-1	食品が腐敗する機構			
	C11-(1)-2-2	油脂が変敗する機構			
	C11-(1)-2-3	食品の褐変反応			
	C11-(1)-2-6	食品添加物			
	C11-(1)-2-9	保健機能食品			
【食中毒】	C11-(1)-3-1	食中毒の種類			
	C11-(1)-3-2	細菌性・ウイルス性食中毒			
	C11-(1)-3-3	食中毒の原因となる自然毒			
【保健統計】	C11-(2)-1-1	人口統計の意義			
	C11-(2)-1-2	人口静態と人口動態			
	C11-(2)-1-5	人口の将来予測			
【健康と疾病をめぐる日本の現状】	C11-(2)-2-1	死因別死亡率			
【疫学】	C11-(2)-3-3	疫学の種類(記述疫学、分析疫学など)			
	C11-(2)-3-4	患者・対照研究			
	C11-(2)-3-5	要因・対照研究(コホート研究)			
【疾病の予防とは】	C11-(3)-2-1	疾病の予防(一次、二次、三次予防)			
	C11-(3)-2-2	予防接種			
	C11-(3)-2-3	新生児マススクリーニング			
【感染症の現状とその予防】	C11-(3)-3-3	感染症法			
【化学物質の代謝・代謝的活性化】	C12-(1)-1-1	有害化学物質の吸収、分布、代謝、排泄			
	C12-(1)-1-2	第Ⅰ相反応			
	C12-(1)-1-3	第Ⅱ相反応			
【化学物質による発がん】	C12-(1)-2-1	発がん性物質			
	C12-(1)-2-2	変異原性試験(Ames 試験など)			
【化学物質の毒性】	C12-(1)-3-3	重金属、農薬、PCB、ダイオキシンなど			
	C12-(1)-3-5	量-反応関係、閾値、無毒性量			
	C12-(1)-3-6	化学物質の安全摂取量(1日許容摂取量など)			
	C12-(1)-3-7	有害化学物質による影響を防ぐための法的規制			
【電離放射線の生体への影響】	C12-(1)-5-1	電離放射線			
【非電離放射線の生体への影響】	C12-(1)-6-1	非電離放射線			
【地球環境と生態系】	C12-(2)-1-1	地球環境の成り立ち			
	C12-(2)-1-2	生態系			
	C12-(2)-1-4	地球規模の環境問題			
【水環境】	C12-(2)-2-2	水の浄化法			
	C12-(2)-2-3	水の塩素処理			
	C12-(2)-2-5	下水処理および排水処理			
	C12-(2)-2-8	富栄養化			
【大気環境】	C12-(2)-3-1	空気の成分			
	C12-(2)-3-2	大気汚染物質			
	C12-(2)-3-3	大気汚染物質の濃度			
【室内環境】	C12-(2)-4-1	室内環境を評価するための指標			
【廃棄物】	C12-(2)-5-1	廃棄物の種類			
	C12-(2)-5-5	PRTR 法			
【環境保全と法的規制】	C12-(2)-6-1	典型七公害と四大公害			

## ⑨薬学と社会

項目	SBO	内容	①	②	③
【法律と制度】	C18-(1)-2-1	薬剤師に関連する法令の構成			
	C18-(1)-2-2	薬事法			
	C18-(1)-2-3	薬剤師法			
	C18-(1)-2-4	医療法			
	C18-(1)-2-6	副作用が生じた場合の被害救済制度			
	C18-(1)-2-7	製造物責任法			
【管理薬】	C18-(1)-3-1	麻薬及び向精神薬取締法			
	C18-(1)-3-2	覚せい剤取締法			
	C18-(1)-3-3	大麻取締法およびあへん法			
	C18-(1)-3-4	毒物及び劇物取締法			
【社会保障制度】	C18-(2)-1-3	介護保険制度			
【医療保険】	C18-(2)-2-1	医療保険の成り立ちと現状			
	C18-(2)-2-2	医療保険			
	C18-(2)-2-3	医療保険の種類			
【医薬分業】	C18-(3)-2-1	医薬分業のしくみ			
【薬局の業務運営】	C18-(3)-3-1	保険薬剤師療養担当規則および保険医療養担当規則			
【OTC 薬・セルフレディケーション】	C18-(3)-4-2	一般用医薬品(OTC 薬)			
	C18-(3)-4-3	漢方薬、生活改善薬、サプリメント、保健機能食品			



## ⑩実務実習事前学習

項目	SBO	内容	①	②	③
《チーム医療に注目する》	D1-(1)-2-1	医療チームの構成			
	D1-(1)-2-2	チーム医療における薬剤師の役割			
《処方せんの基礎》	D1-(2)-1-1	処方せんの法的位置			
	D1-(2)-1-2	処方オーダリングシステム			
	D1-(2)-1-3	処方せんの種類、特徴、必要記載事項			
《医薬品の用法・用量》	D1-(2)-2-1	代表的な医薬品の用法・用量、投与計画			
	D1-(2)-2-2	患者に適した剤形			
	D1-(2)-2-3	患者の特性(新生児、小児、高齢者、妊婦など)			
	D1-(2)-2-4	患者の特性に適した用量計算			
《服薬指導の基礎》	D1-(2)-3-1	服薬指導			
《疑義照会の意義と根拠》	D1-(3)-1-1	疑義照会の意義			
	D1-(3)-1-2	配合変化の組合せ			
《疑義照会入門》	D1-(3)-2-3	医薬品の警告、禁忌、副作用			
	D1-(3)-2-4	医薬品の相互作用			
	D1-(3)-2-5	疑義照会の流れ			
《特別な配慮を要する医薬品》	D1-(4)-2-1	毒薬・劇薬の管理			
	D1-(4)-2-2	麻薬、向精神薬の管理			
	D1-(4)-2-3	血漿分画製剤			
	D1-(4)-2-4	輸血用血液製剤			
	D1-(4)-2-5	生物製剤			
《注射剤と輸液》	D1-(4)-4-1	注射剤の配合変化			
	D1-(4)-4-3	輸液と経管栄養剤			
《消毒薬》	D1-(4)-5-1	消毒薬の使い方			
	D1-(4)-5-2	消毒薬調製時の注意点			
《安全管理に注目する》	D1-(5)-1-1	薬剤師業務の中で起こりやすい事故事例			
《副作用に注目する》	D1-(5)-2-1	医薬品の副作用の初期症状と検査所見			
《服薬指導に必要な技能と態度》	D1-(6)-1-2	医薬品の服薬指導上の注意点			
	D1-(6)-1-3	疾患において注意すべき生活指導項目			
	D1-(6)-1-7	患者接遇に際し、配慮しなければならない注意点			
《患者情報の重要性に注目する》	D1-(6)-2-1	服薬指導に必要な患者情報			